

木村悠方子（きむら まさこ）

ことのは語りとして、講演で全国を回り、朗読会にも力を注いでいる。

いのちをいただくことを意識して食べること、
子ども心に届く言葉を親が語りかけること、
自尊心を育むことが、いかに大切か伝えている。

NPO法人「エフ・フィールド」理事として、「いのちの授業」の活動にも協力。また一般社団法人「三月のひまわり」顧問として、東日本大震災の被災地支援にも尽力。

講演テーマ例『育みはぐくまれ』『いただきますとごちそうさまに心をこめて』『日々の中のたいせつなこと』『伝えたい言葉』『自分をほめる言葉の力』

著書 『古くて新しい奇跡の言葉 いただきます』（青春出版社）
『育みはぐくまれ』（グラフ社）

『母、いのちの言の葉』（高木書房）

朗読CD 『かあさん』『きみがよものがたり』『結言』



小林勇輝（こばやし ゆうき）

現代美術家

6歳から書に親しみ、詩や書を表現の柱としながらも、既存の枠にとらわれない独創的な作品は国内外で評価され、メッセージ性のある作品は国境を越えて多くの感動を呼んでいる。

伊勢志摩サミットでは平和祈念の折り鶴の作品のカップ &ソーサーが使われ話題となる。

ニューヨークの現代美術の祭典では世界中から集まった人々から最も感銘を受けたブースであると絶賛される。毎日書道展 2年連続「毎日賞」を受賞など。

初の作品集「いのちなみうち」を令和に生まれた出版社 Hagazussa Booksより出版。



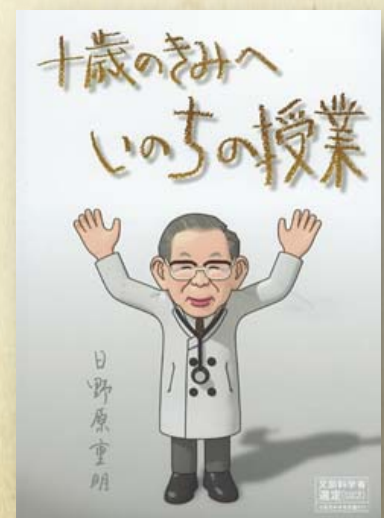
エフ・フィールドとは

105歳まで現役医師としてご活躍された日野原重明先生の「十歳のきみへ いのちの授業」DVDをメイン教材に使い、いのちについて考えるきっかけ作りとなる出前授業を、小学校等で行っています。

三重県を中心に全国に向け地域の大人たちが発信・活躍しているボランティア団体です。平成20年から活動を始め、これまでに972回の授業（令和元年7月30日現在）を実施することができました。

1人1つの聴診器を使い、自分や友達、家族の心音を聴き、大切ないのちとは何か、その使い方を考え自分は愛されている大切な存在なんだと改めて感じ、「ゆるす」勇気を持つことを伝えています。

詳しくは新しくなったホームページをぜひご覧ください。



エフ・フィールド

検索